

すべてを見通すあみださま

かくしてすげすこの私

今年も残すところあと僅かとなりました。皆さんにとつて今年一年はどんな年だったでしょうか？

毎年、京都の清水寺で十二月中旬になると日本漢字能力検定協会から「今年の漢字」が発表されます。今から九年前の平成十九年を表す漢字一文字には「偽」という漢字が選ばれました。その年は日本全国で食品の偽装事件が相次ぎました。さらに振り込め詐欺が多発した年でもありました。私たちが生活するこの世の中で、その年を表す漢字に「偽」という文字が選ばれる世界に

私たちは暮らしています。

お念仏を喜ばれた懐かしい方々が往き生まれていかれたお浄土という世界はどんな世界でしょうか？

「偽」の反対の意味を表す漢字は、【真】【本】ほんもの。真実。【誠】相手のために尽くそうとする、偽りないさま。と反対語対照語辞典に掲載されています。お浄土とは嘘や偽りのない「真実の世界」です。

「浄土真宗に帰すれども 真実の心はありがたし

虚仮不実のわが身に 清浄の心もさらになし」

『悲歎述懐讚』

如来に対してどこまでも不真実であるこの私。迷いの世界の真ただ中に生きている私を仏様となられた懐かしい方々はお浄土という真実の世界から「南無阿弥陀仏」となって支え励まし続けて下さっています。真実の世界であるお浄土から私に向けられた阿弥仏の願い、懐かしい方から私たちに向けられた思いは、今もそしてこれからも私が浄土に往き生まれるまで続きます。

